

森で昔の暮らしを体験

フィールドミュージアム里山体験

9月11日（日）、古中尾地区の里山で、里山体験として炭焼きや自然観察・森林教室が行われました。地元の子どもたちや緑の少年団員約25人が参加しました。この体験は、水俣芦北地域環境フィールドミュージアム事業の一環として、古中尾森友会などの協力により行われました。参加した子どもたちは、炭焼きの方法や樹木の名前を覚えたり、五感を使った森林でのネイチャーゲームなどを体験し、昔の里山の暮らしについて学びました。実際に体験してみるとともに、自然の中での楽しいひとときを過ごしました。



▲ナスの収穫を体験

お泊り保育で食育学習

津奈木保育園お泊り保育にて

津奈木保育園は、9月2日（金）にお泊り保育の一環として食育に取り組みました。町のヘルスメイトを講師に招き、『お米がご飯に変わるまで』をテーマに、透明のガラス鍋を使ってどのようにご飯が炊きあがるのかを観察しました。参加した園児たちは、鍋の中の様子を見ながら、「お米が踊っているね」「ご飯の甘い匂いがしてきたよ」と、新しい発見や驚きに満ちていました。炊きあがったご飯は、園で育てた野菜を使ってみんなで調理したおみそ汁とともに昼食としておいしくいただきました。自分たちで炊いたご飯は格別なのか、園児たちはおかわりしてたくさん食べていました。



▲ご飯はまだ炊けないかなあ？

トンネルにおえかき!?

南九州西回り自動車道

津奈木トンネル（仮称）

工事現場見学会

8月27日（土）、夏休みの思い出を作るという津奈木町の小学生とその保護者を対象に南九州西回り自動車道津奈木トンネル（仮称）工事現場見学会が開催されました。32人が参加して行われ、普段見ることのできないトンネル工事現場を楽しんだ。トンネルの壁に絵を描くという活動は、子どもたちにとって新しい体験となりました。トンネルの壁に絵を描くという活動は、子どもたちにとって新しい体験となりました。トンネルの壁に絵を描くという活動は、子どもたちにとって新しい体験となりました。



▶シートに絵を描く参加した子ども